



キマダラミヤマ カミキリ号

3月定例クリーンアップ

【活動報告1】

3月28日(日) 10:00~10:30 曇りのち雨

飯村優介

実施内容：泥牛橋～第二山王橋（土嚢袋2袋）

参加者：飯塚利一、飯岡学、寺尾勝廣、山田陽治、河本充雄、沖田正孝、沖田萌美、小池碧馬、今井康祥、今井翔太(中3)、柏倉正和、柏倉陽向(中1)、柏倉陽斗(小5)、柴田真菜(中3)、柴田幸成(小4)、貞廣宇保(中2)、伊藤悠馬(中1)、高橋悠紀(小6)、高橋たかよし(小3)、桑原天海(小6)、吉岡快(小1)、豊田仙太郎(小4)、山村結衣(小4)、いしわたりふみお(小3)、飯村優介(計25名)



回収したゴミ

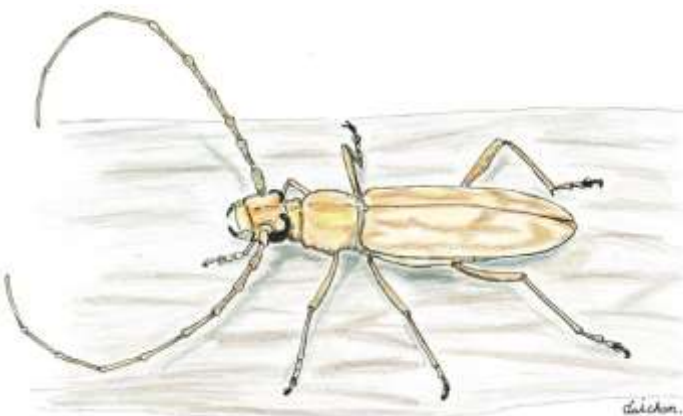
気づいた点：雨が降ってきたので途中で切り上げた。

キマダラミヤマカミキリ (黄斑深山髪切)

学名： *Aeolesthes chrysothrix chrysothrix*

5月～8月頃に見られる中型のカミキリムシ。体は金色のビロード状の微毛に覆われ、光が当たると輝いて見える。黄斑というより金斑の方が良く似合っている。和名のミヤマは深い山という意味から付いたと思われるが、平地の公園等でも見ることができる。平地から山地の雑木林に生息し、成虫はクヌギやコナラ等の樹液やミズキ等の花に集まる。産卵はクリやクヌギ等の朽木に行い、幼虫は朽木を食べて成長する。

本州、四国、九州と周辺の島に分布し。南西諸島に3亜種が生息するが、本州に似た種はいない。侍従川周辺ではここ5年ぐらいで見られるようになった。私が毎日のように朝比奈や大道で虫捕りをしていた10年程前は見たことが無かったので最近になって増えてきた種類だと思われる。



深沢大地



クリーンアップ後のミニミニ水族館の様子



侍従川沿いの満開の桜

トピックス

3/28 (日) 学生部定例調査は、雨天のため中止

4/22 (木) 大道小との情報&意見交換会 大道小：加藤校長、落合副校長、服部先生、当会：山田、河本が出席

◎ 今年度の侍従川中流域（大道橋～六浦二号橋）の草刈り計画について、神奈川県横浜川崎治水事務所から連絡がありました。

山王橋～六浦二号橋…8月上旬

大道橋～山王橋…9月

大道橋～六浦二号橋…10月

生き物発見記録

4/3 (土) 金沢区東朝比奈(ホタル谷戸付近)でガビチョウを発見 (深沢)

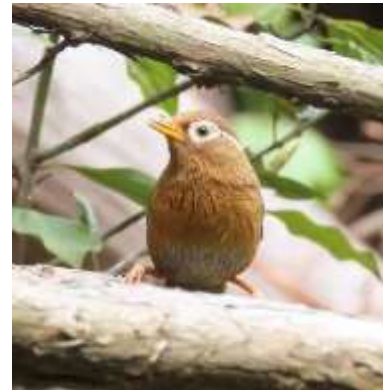
4/25 (日) 侍従川(六浦二号橋付近)でチゴガニを発見 (深沢)

5/9 (日) 逗子市池子(池子の森自然公園)でアカボシゴマダラを発見 (深沢)

5/9 (日) 金沢区東朝比奈(ホタル谷戸)でコムスジを発見 (深沢)

5/9 (日) 侍従川中流域で3頭ゲンジボタルを発見(今年の初見) (飯村)

5/15 (土) 金沢区六浦二丁目でキマダラミヤマカミキリを発見 (深沢)



ガビチョウ



チゴガニ



コムスジ



キマダラミヤマカミキリ

春の野草摘み

【活動報告2】

4月4日（日）9：30～14：30

小屋原 遼（小6）

家族で春の野草つみに参加しました。

僕は、魚を釣ったり、貝をとったり、キノコや竹の子をとって食べたことがあります。とるのは楽しいし、食べるのは美味しいので、野草つみはとても楽しみにしていました。

天気良くて気持ち良い天気でした。

山に入ってすぐに草がいっぱい生えている場所があって、そこで、食べられる野草と、毒があるので食べてはいけない野草をいくつか教わりました。周りを良く見ると、たくさんの種類の植物があることに気がつきました。

弟はタンポポやハルジオンをとりました。お父さんはノビル、お母さんはフキとセリをとりました。最初は見分けが付きにくかったけれど、とっているうちに、だんだん見分けがつくようになりました。僕も色々とったけれど、途中、山道を少し外れたところにシイタケを探しに行き、とることができたのがドキドキして楽しかったです。

山から下りてから、とって来た野草をその場で天ぷらにして食べました。僕は野菜はにがてだけど、天ぷらは大好きです。どんな味がするのか興味もあったので、色々食べました。

天ぷらにして食べたのはソバナ・タンポポ・ヤマニンジン・シイタケ・ノビル・セリ・ユキノシタ・タラノメ・ヨモギ・ハリギリ・ハルジオンです。11種類もありました。

僕が特においしかったのは、タンポポとシイタケでした。タンポポはふだん良く見かけるので、不思議な感じがしました。

少しだけど、野草のことを知る事ができたので山歩きがもっと楽しくなりそうです。来年の春も楽しみです。



4月定例クリーンアップ

【活動報告3】

4月25日(日) 10:00~11:35 曇り時々晴れ 飯村優介

実施内容：諏訪之橋～大道橋(土嚢袋3袋と傘)

参加者：飯岡学、寺尾勝廣、山田陽治、河本充雄、沖田萌美、沖田正孝、前川詩水佳、平山佳歩、深沢大地、小池碧馬、今井康祥、今井翔太(高1)、柏倉正和、柏倉陽向(中3)、柏倉陽斗(小6)、和田崇、和田啓吾(小6)、柴田繭子、柴田幸成(小5)、川久保康子、川久保翔平(小1)、山口政祥、山口葵生(小1)、五月女陽斗(中1)、飯村優介(計25名)

気づいた点：二の橋(大道一丁目緑地の下流側)の下に注射針とカミソリが多数落ちていた。ウキゴリ、チチブの卵が多くみられた。

☆大道小の子どもたちが描いてくれたポスターです。
侍従川沿いに掲示してあるので、探してみてください。



回収したゴミ



5月定例クリーンアップ

【活動報告4】

5月23日(日) 10:00~11:45 曇りのち晴れ 飯村優介

実施内容：六浦2号橋～大道橋(土嚢袋5袋)

参加者：飯岡学、浦信太郎、山田陽治、沖田萌美、沖田正孝、金子英司、小池碧馬、深沢大地、今井康祥、今井翔太(高1)、大西領、大西哲(小1)、柏倉陽向(中3)、貞廣宇保(中3)、五月女陽斗(中1)、臼井二葉(小6)、飯村優介(計17名)

気づいた点：ゴミは、やや多く集まった。調査は大型のクロダイやハゼ類など多くの成果があった。



回収したゴミ

朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

今春は季節の進みがとても早かった。

源流の森では山桜の開花も木々の芽吹きも観測史上最速でした。

海辺のクロマツの下に発生するショウロは2月半ばから長期にわたり発生した。アミガサタケは海辺の公園では3月半ばから発生した。山奥の大きいアシトアミガサタケは4月下旬に発生した。



ショウロ



アシトアミガサタケ



タラの芽



ハリギリ

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ オキナワマドボタル ～



幼虫

学名 : *Lychnuris matsumurai kumejimensis*

体長 : 8～10mm 分布 : 沖縄本島、久米島、石垣島、西表島、小浜島

和名の「マド」は前胸背前縁にある1対の透明な部分を「窓」に見立てていることに由来する。ホタルと聞くと、夜間発光して飛び回る姿を想像するが、本種の成虫は発光せず、ほぼ昼行性で、幼虫、卵が発光する。またメス成虫の姿はオスとはかけ離れていて、イモムシのような姿をし、殆ど移動しない。マドボタルの幼虫は陸生で、カタツムリの類を捕食する。

監修 : 熊井健 (沖縄在住)

北の国から ～在来種?外来種?～ 瀧本宏昭

コロナ騒ぎで遠出できない中、今年の雪が解けたばかりの頃から新しいご近所さんがやってきました。

「カシャカシャカシャ」というカメラのシャッター音のような鳴き声の「カササギ」です。この野鳥は、尾羽が長く、青みがかった黒と白色の模様で、ハトよりも少し大きく、クチバシから尾羽までの長さが約45cmあります。

私が北海道苫小牧市に来て約6年経ちますが、年々市内でカササギを見られる場所が増えています。分布を広げているのが目に見えるので外来種かと思いきや、日本鳥類目録（改訂第7版）では、「九州以外では自然分布としたが、移入分布の可能性もある」という記載がある野鳥です。

現在、カササギはヨーロッパ全域から極東にかけてのユーラシア大陸、北米大陸の北西部、北アフリカなど、北半球に広く分布しています。

日本国内に持ち込まれて定着したのは、約400年前の豊臣秀吉の頃から江戸時代に、縁起が良い鳥として入れられたのがきっかけとされています。その後、九州北部で定着したものの分布はあ

まり広がらず、局所的に全国で目撃されるだけの状態でした。ところが、1990年代になり北海道の室蘭でカササギが定着し、分布を広げていきました。

カササギは、基本的に長距離を渡る鳥ではなく、他の外来種の野鳥のようにペットとして大量に飼われていた記録も出てきていないようです。また、遺伝子の調査では、北九州にいるカササギは朝鮮半島系なのに対して、北海道にいるのはロシア系に近いことが分かっています。このことから、北海道に入ってきたカササギの移動経路で、現在最も有力な説になっているのは巨大なタンカー船に乗ってきたというものです。

言い換えると北海道にいるカササギも外来種ということになります。ただ、一部自然に飛んできている可能性もあるためか、中国の伝説で織姫と彦星のかけ橋となったためか、不思議と個人的に嫌な存在に感じない鳥の話でした。



2021年 春 学生部水鳥調査報告

〈調査範囲〉 野島海岸(前浜)及び野島水路, 野島公園対岸(日産工場側)

〈調査対象〉 渡りの途中に立ち寄るシギ・チドリとその他鳥類

〈調査方法〉 1回の調査につき1~1.5時間を目安に双眼鏡を使用して観察. 撮影はコンパクトデジタルカメラを使用した.



〈日程〉 4/23, 4/25, 4/27, 5/6, 5/9, 5/10, 5/12, 5/14, 5/15, (計9回)

〈参加者〉 深沢大地(学生部) 吉村みち子(日本野鳥の会神奈川支部)

〈調査結果〉

種数	分類(目)	分類(科)	分類(属)	和名	2021/4/23	2021/4/25	2021/4/27	2021/5/6	2021/5/9	2021/5/10	2021/5/12	2021/5/14	2021/5/15
1	カモ目	カモ科	マガモ属	ヒドリガモ	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2			スズガモ属	スズガモ	15	17	15	4	6	5	5	5	0
3	カツオドリ目	ウ科	ウ属	カワウ	0	0	4	4	0	1	3	4	2
4	ペリカン目	サギ科	アオサギ属	アオサギ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5	ツル目	クイナ科	オオバン属	オオバン	9	2	0	0	0	0	1	1	0
6	チドリ目	チドリ科	ムナグロ属	ムナグロ	2	2	0	0	0	0	0	0	0
7			チドリ属	メダイチドリ	3	12	0	9	0	0	0	3	2
8		シギ科	ダイシャクシギ属	チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	1	0	1	0
9			キアシシギ属	キアシシギ	4	3	3	25	25	15	32	7	8
10			オバシギ属	ハマシギ	0	6	0	2	0	0	0	0	0
11		カモメ科	カモメ属	ユリカモメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12	スズメ目	セキレイ科	セキレイ属	ハクセキレイ	0	0	0	1	0	0	0	0	0

〈備考〉

- ・ 学生部調査としては初記録となるムナグロ, メダイチドリ, チュウシャクシギ, キアシシギ, ハマシギが確認された.
 - ・ キアシシギが多数滞在し, 5/12の調査では32羽が記録された.
 - ・ キアシシギは潮干狩り客が多い時, 潮が満ちて干潟が水没した時等に係留されているボートの上で休む姿が観察された.
 - ・ メダイチドリは多毛類, キアシシギとチュウシャクシギはチゴガニやコメツキガニ, ヤマトオサガニを捕食していた.
- ハマシギ, ムナグロも採食行動は見られたが, 何を食べているかは確認できなかった.
- ・ 冬鳥であるスズガモやオオバンは大半が繁殖地へ渡って行ったが, 今回の調査期間に確実な終認記録を得ることはできなかった.

【クリーンアップ調査（ハゼ類の卵塊）】

2021年4月25日（日）【記録】飯村

加寿美橋～泥牛橋 5 チチブ、ウキゴリ

泥牛橋～大道東橋 23 チチブ、ウキゴリ

第二山王橋下 2 シマヨシノボリ



事務局だより

◆6月～9月の活動予定

☆定例クリーンアップ 6/27(日)、7/25(日)、8/22(日)、9/26(日)

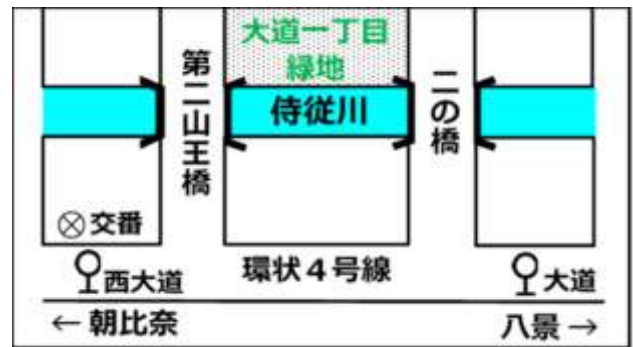
10時～11時 大道一丁目緑地（ちとせ園）集合 ※雨天中止

今後も**開始時間は10時**とします。

ご注意ください。

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人)

※川の上からの参加でも構いません



☆7/18(日) 野外で役立つロープ術 9時～14時頃 ※雨天中止 <要申込>

～キャンプに困ったことはありませんか？ タープのロープに付属の部品が無いとか・・・ズバツと解決！ ロープのみでタープを張りましょう～

集合・解散：大道一丁目緑地（旧称：ちとせ園）

活動場所：朝比奈北市民の森周辺

持ち物：マスク、昼食、飲み物、帽子、タオル、レジャーシート、消毒道具などコロナ感染対策品

参加費：会員無料、非会員¥200（保険代込）

【申込先】 緊急連絡先（雨天中止連絡アドレス）を記入の上、**info★jijyukai.sakura.n e.jp**（★を@に置き換えてください、担当：寺尾）宛にメールで申し込みください。

※新型コロナウイルスの状況を考慮し、当日朝検温していただき、平熱より高い方や倦怠感など普段に比べ違和感を感じる方は参加をご遠慮ください。

また、開催日前の二週間以内に①～③に該当する方はご遠慮いただく場合があります。

①濃厚接触者の判定を受けた方 ②家族に発症者のいた方 ③職場に発症者がいた方

※今年度は、感染症対策のため、いかだ下り大会は実施しません。ご了承ください。

■学生部の活動

☆定例調査 7/25(日)、9/26(日) 定例クリーンアップ後の午後に実施

☆ホタル調査 in 大道溪谷 5月22日(土)～7月上旬の毎週水曜日と土曜日

※雨天中止 中止の場合は当日18時までにメーリングリストにて連絡します。

時間：19時～21時 集合解散：大道中学校 体育館前

参加対象：学生部（中学生・高校生）※学生部以外の方の参加も歓迎します。

留意点：小学生以下は保護者同伴での参加をお願いします。

中学生以上は保護者の承諾を得ての参加をお願いします。

夜間の調査になるので、大きな声で話したり騒いだりしないようお願いします。

調査終了後は速やかに帰宅しましょう。

☆6/6(日)、6/13(日) ホタル全域調査 19時～21時 ※雨天中止

集合：大道一丁目緑地（旧称ちとせ園）

対象：どなたでも（小学生以下保護者同伴） 持ち物：懐中電灯、その他

留意点：申込み不要、汚れても良い靴でお越しく下さい

☆7/17(土) クワガタ観察会 19時～21時

集合：大道中学校正門前 対象：どなたでも（小学生以下保護者同伴）

持ち物：懐中電灯その他

留意点：雨天中止、申込み不要、歩きやすい靴、長袖・長ズボン推奨

☆7/31(土) シュノーケル遠足 10:00～16:00 ※雨天中止

集合：六浦駅 活動場所：芝崎or三ヶ下海岸 対象：小学5年生以上

持ち物：シュノーケルセット、フィン、昼食、飲み物、交通費、着替え

留意点：要申込、熱中症の危険があるためこまめな水分補給をするようお願いします。

☆8/13(金)～14(土) 学生部夏合宿 in ウェルキャンプ西丹沢

活動場所：〒258-0201 神奈川県足柄上郡山北町中川868 ウェルキャンプ西丹沢

とその周辺 対象：中学生以上 定員：8名

留意点：要申込み、持ち物等詳細は別途メーリングリストにてお知らせします。

【申込先】1. 参加希望のイベント名称、2. お名前、3. 住所、4. 年齢（学年）、

5. 緊急連絡先、6. 会員の有無、7. メーリングリスト登録の有無を記載の上、

info★jijyukai.sakura.ne.jp（★を@に置き換えてください、担当：金子）宛にメ

ールで申し込みください。

※申込み期限は各イベント実施日の3週間前までとさせていただきます。

学生部の各イベントの詳細はメーリングリストに別途送らせていただきます。メーリングリストに登録真いない方は個別に対応しますので、お手数ですがイベント名称を記載の上、info★jijyukai.sakura.ne.jp（担当：金子）まで一報ください。

<< 新型コロナウイルスの対応について >>

6月以降も例年どおりの活動を予定していますが、状況により変更・中止となる
ことがあるので、その場合は、ホームページ及びメーリングリストでお知らせしま
す。ご了承ください。

活動参加の際は、マスク着用等感染対策は各自でお願いします。また、当日体調
の優れない方は参加をご遠慮ください。

<< 2021年度会費納入のお願い >>

4月から新年度になりました。新年度分の会費の納入を6月中にお願いいたします。

現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込取扱票〔青色：払込
料金払込人負担〕での振り込みをお願いします。

口座番号：00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会

年会費：家族4,000円、大人3,000円、

学生部（大学生まで）・ジュニア1,500円

※家族会員は、家族であれば、何人でも4,000円です。

【会員情報の記入のお願い】 通信欄に以下の情報を記入してください。

①会員種別（家族、大人、学生部・ジュニア）、②お名前（全員分）、③会報郵送希望の有無
※会員情報を記入していただかないと郵送物（総会のお知らせ・会報等）をお届けする
ことができないので、振り込む前に必ず確認・記入をお願いします。

なお、継続会員で、かつ転居など会員情報に変更がない場合、銀行からの振り込みも
受け付けますのでご利用ください。

◆ゆうちょ銀行からの振り込みの場合

口座番号：00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会

◆他の銀行からの振り込みの場合

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：029 預金種目：当座

店名：〇二九店（ゼロニキュウ店） 口座番号：0068634

問合せ先:スタッフ又は info★jjyukai.sakura.ne.jp(★を@に置き換えてください)

※事務局の連絡先を変更しました

平成8年6月8日にNHKで放映された『ふる里自然発見「都会の川に生き物たちが
戻った」』をホームページにアップしました。当時の侍従川が映っている貴重な映像
をぜひご覧ください。 <https://jjyukai.sakura.ne.jp/wp/2021/05/25/nhk/>

≪編集後記≫ 新年度が始まってもう2か月が経ちました。自粛生活は月日が経つのを早
く感じます。今年は桜の開花も早かったですが、ホタルも早そうです。(MK)